

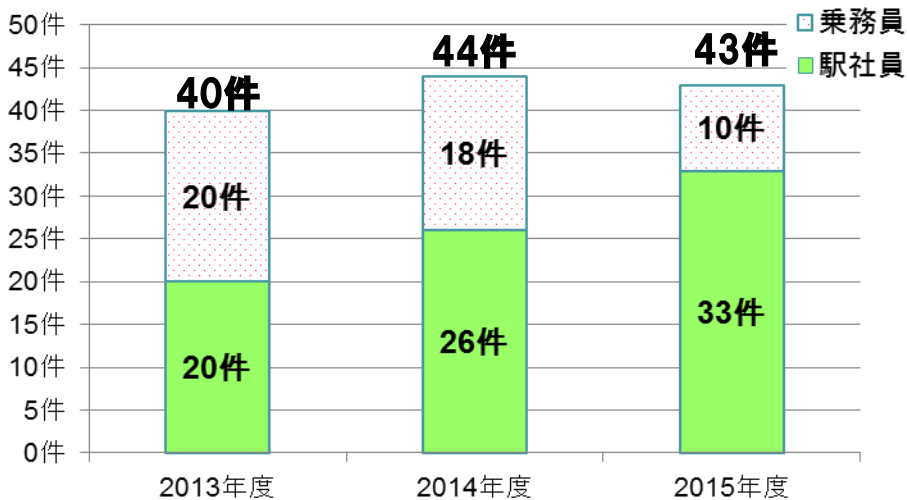
## 2015年度「鉄道係員に対する暴力行為」について

2015年度JR東日本八王子支社の「鉄道係員に対する暴力行為」は43件発生しており、ホームおよび改札での発生が全体の7割を占めています。また、6割以上が19時以降の夜間に発生しており、加害者の6割が飲酒をしていました。

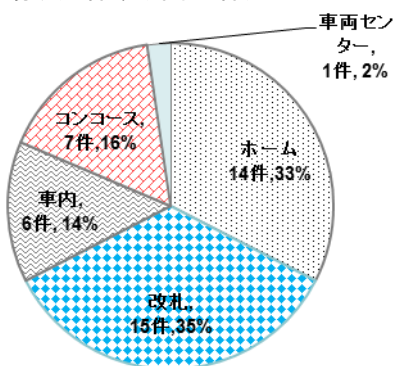
当社では首都圏の私鉄と「暴力行為防止ポスター」を作成し、駅構内や車内へ掲出して暴力行為をしないよう呼びかけております。また、ガードマンの配置や防犯カメラなどの設置を行うとともに、トラブルが発生した際には早めに警察官を要請し、暴力行為が発生した際には被害届を提出するなど、毅然とした対応をしています。

### 1. 発生状況

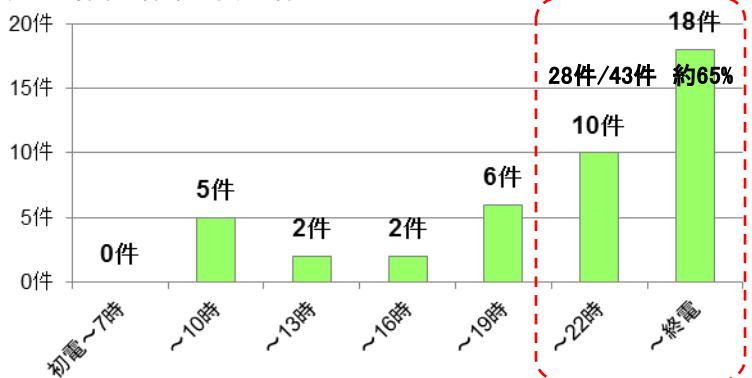
(1) 発生件数の年度別推移(単位:件)



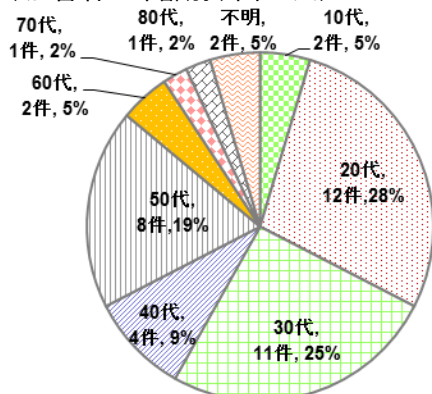
(2) 発生場所別件数(単位:件) 総計=43件



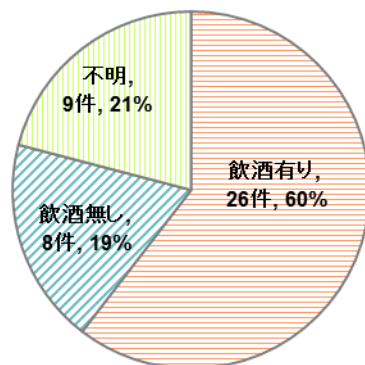
(3) 発生時間別件数(単位:件) 総計=43件



(4) 加害者の年齢別(単位:人) 総計=43件



(5) 加害者の飲酒の有無(単位:人) 総計=43件



## 2. 主な事例

### (1)八王子駅(駅社員)

4月29日(水) 16時40分 40代男性 飲酒あり  
自動改札機が閉まったことに激昂し、精算をお願いしたところ改札カウンターを蹴り暴れて財布や携帯電話を投げつけられた。  
(右前腕打撲 全治7日間)

### (2)石和温泉駅(駅社員)

6月27日(土) 21時15分 30代男性 飲酒あり  
改札で割り込みをした旅客と注意した旅客がトラブルとなり、止めに入った社員が壁に頭部を押し付けられた。  
(頭部打撲 全治7日間)

### (3)中央線特急車内(車掌)

8月11日(火) 16時50分 30代女性 飲酒あり  
車内改札中にデッキで寝ていた旅客に声をかけたところ、いきなり顔面を殴られた。応援を呼びに一旦離れ、戻った際に再度殴られた。(顔面打撲 全治3日間)

### (4)川越車両センター(運転士)

9月8日(木) 21時20分 70代男性 飲酒なし  
川越車両センター構内の社用通路を通ろうとしていた公衆を注意したところ、背後より突き飛ばされた。  
(右円回内筋損傷 全治1ヶ月)

### (5)武蔵野線車内(運転士)

3月1日(火) 8時24分 30代男性 飲酒あり  
車内点検時で下車しない男性旅客に対し駅社員と運転士計4名で対応した際、旅客が威圧的な態度で暴言等を言い、暴れ出したため取り押さえようとしたところ運転士が負傷した。(左尺骨近位骨折、右中指末節骨骨折、右手挫傷。全治3週間)

## 3. 当社としての主な取組み

### ○ 暴力行為防止ポスターの掲出

<期間> 夏季：2015年7月10日(金)～9月9日(水)

冬季：2015年12月7日(月)～2016年2月6日(土)

<内容>首都圏の私鉄、警察とタイアップした「暴力行為防止ポスター『これらはすべて暴力です』」を作成し、駅構内や車内へ掲出

### ○ 警察からの指導をいただく「防犯講習会」への参加 (2015年度実施分)

<箇所>国分寺駅、武蔵小金井駅、西国分寺駅、甲府地区、八王子地区

<内容>暴力行為に遭わないための初期対応、身の危険を感じた際の対処法

### ○ ガードマンによる駅の巡回

○ 当社では、社員への暴力行為に対して被害届を提出するなど、毅然とした対応をとることとしています。



<夏季ポスター>



<冬季ポスター>



<防犯講習会>